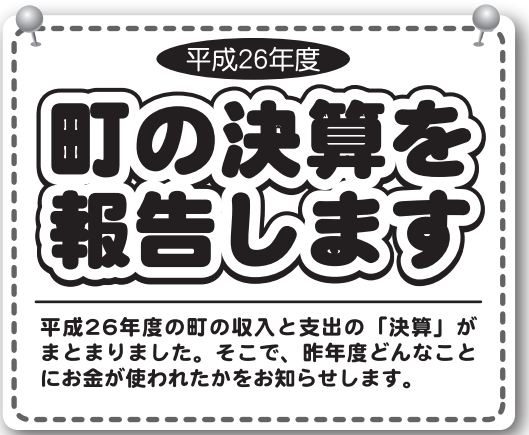




町の会計は、町民サービスの基本となる「一般会計」と特定の事業を行う「特別会計」に分かれています。ここでは一般会計について説明します。（特別会計については12ページ参照）

前年度の決算とどう変わったの？

収入・支出決算の比較表を見てみると、収入については自主財源の大部分を占める町税において、人口増に伴う納税義務者数の増や収納対策強化による町民税の増、家屋の新築増による固定資産税の増等により、町税全体で見ると前年度に比べ4.2%（1億4,508万円）の増となりました。また、国・県からの支出金は、沖縄振興特別推進交付金は減となっているものの、沖縄振興公共投資交付金の増及び介護給付・訓練等給付事業の事業費の増に伴う国・県負担金の増等により前年度に

比べ1.1%（4,573万円）の増となっています。地方交付税については、普通交付税、特別交付税ともに減となっており、前年度に比べ2.6%（6,122万円）の減となっています。

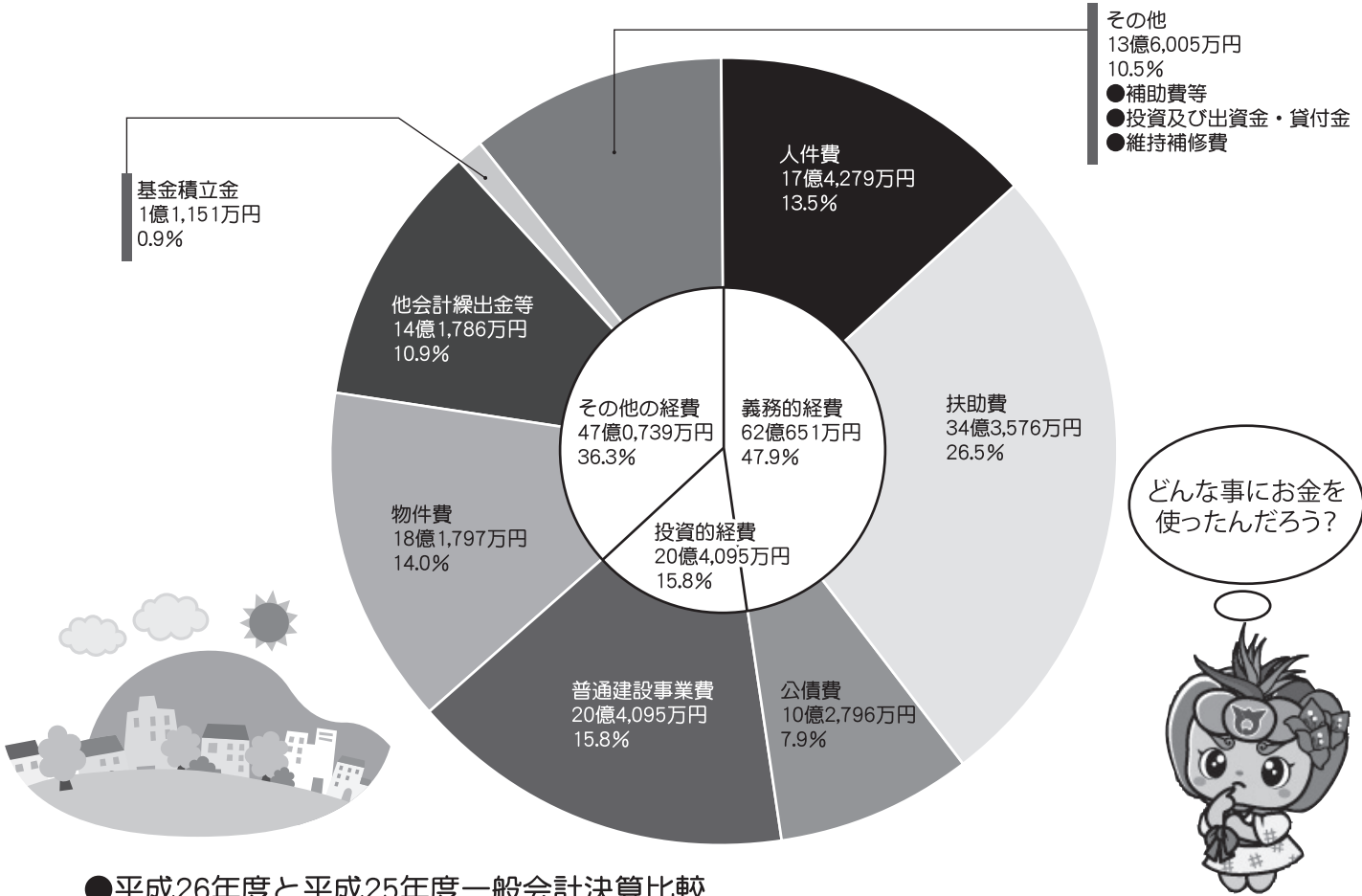
次に支出については、人件費が職員給与及び嘱託員報酬の増により7.0%（1億1,448万円）の増、扶助費がこども医療費助成事業において対象を中学校卒業までに拡大したことや、認可保育園運営補助金、介護給付・訓練等給付事業の増等により11.0%（3億4,158万円）の増となっています。普通建設事業費については、安心こども基金事業の皆減や黄金森公園整備事業費の減などにより12.4%（2億8,817万円）の減となりました。また、物件費においては、沖縄振興特別交付金を活用した無線インフラ・観光システム構築委託料等の増により3.7%（6,536万円）の増となっています。

平成26年度も一般会計では黒字決算になりましたが、平成20年度決算より赤字決算となっている国民健康保険特別会計、毎年増加傾向にある扶助費をはじめ、各特別会計への繰出金の増加や沖縄振興特別推進交付金を活用した事業等、必要な事業に対応するために、引き続き「安定的な財政運営」に努めていきます。

今後とも町民の皆様の町財政へのご理解とご協力をお願い致します。

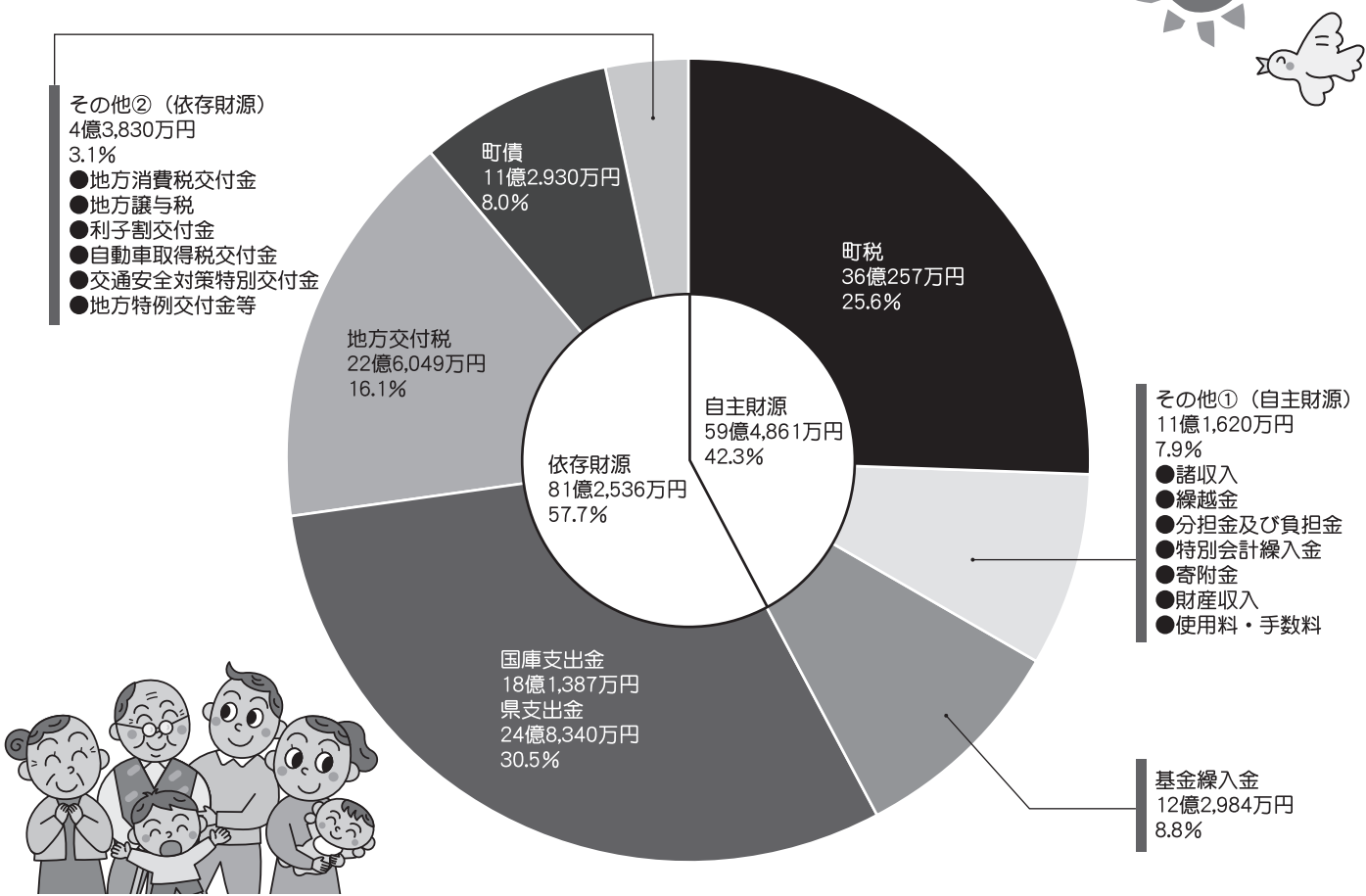
町が使ったお金（一般会計支出）

129億5,485万円



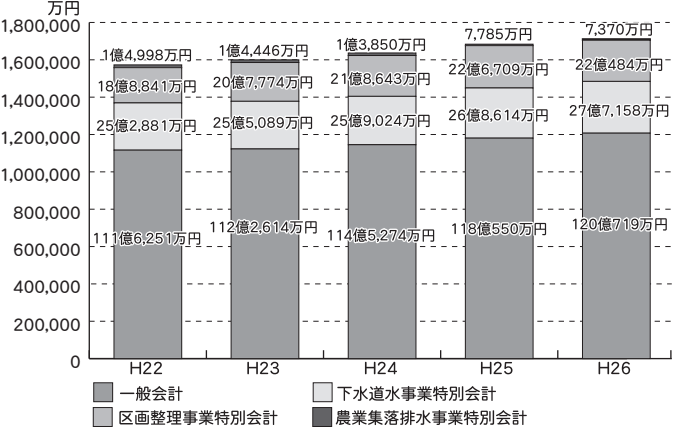
町に入ってきたお金（一般会計収入）

140億7,397万円



●平成26年度と平成25年度一般会計決算比較

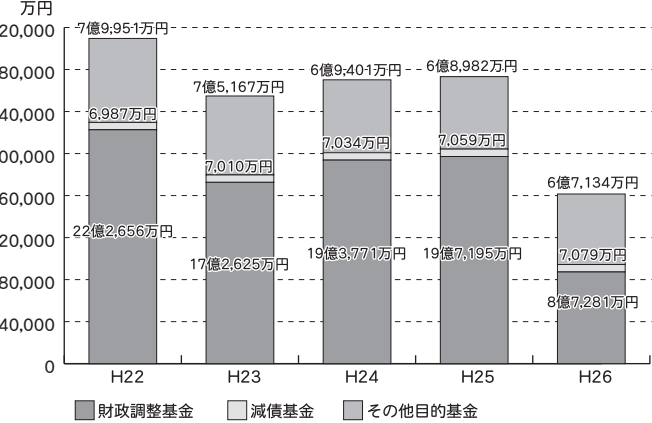
【町債(町の借金)残高の状況】



【支出・性質別】

項目	H26決算額	H25決算額	前年比 (%)
人件費	174,279	162,831	7.0
扶助費	343,576	309,418	11.0
公債費	102,796	102,616	0.2
普通建設事業費	204,095	232,912	▲ 12.4
物件費	181,797	175,261	3.7
他会計繰出金	141,786	158,384	▲ 10.5
基金積立金	11,151	18,839	▲ 40.8
その他	136,005	138,939	▲ 2.1
歳入合計	1,295,485	1,299,200	▲ 0.3

【基金残高の状況】



【収入】

項目	H26決算額	H25決算額	前年比 (%)
町税	360,257	345,749	4.2
その他①(自主財源)	111,620	137,617	▲ 18.9
基金繰入金	122,984	24,371	407.6
国・県支出金	429,727	425,154	1.1
地方交付税	226,049	232,171	▲ 2.6
町債	112,930	120,330	▲ 6.1
その他②(依存財源)	43,830	38,895	12.7
歳入合計	1,407,397	1,324,287	6.3